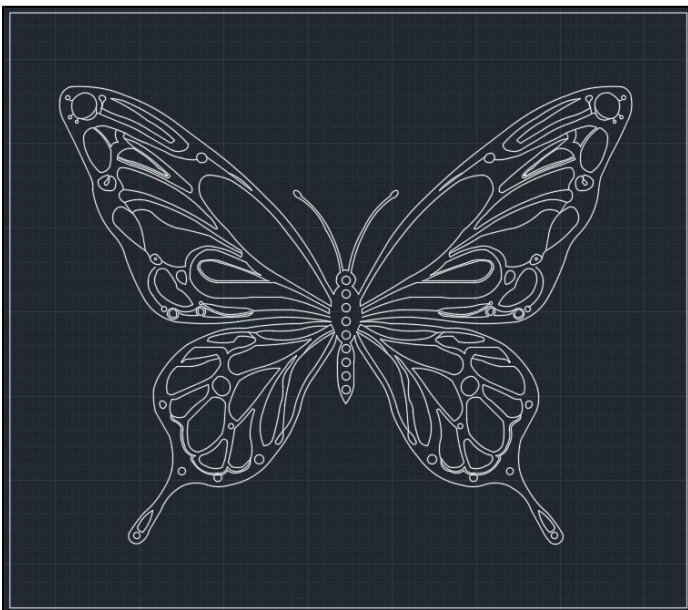


光翅蝶々(コウシチョウチョウ)

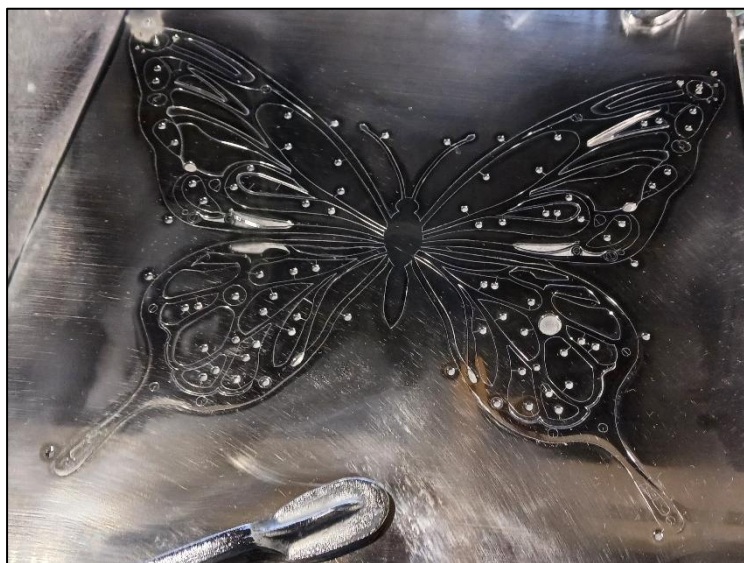
- ・板金加工や構造を工夫して、色鮮やかに光り輝く蝶々を表現しました。



- ・設計、加工を工夫して綺麗な微細模様の翅を表現し、蝶の美しさを再現しました。
胴体部分は板に穴をあけて積層構造で組み立て TIG 溶接をすることで表面へ溶接跡が見えないようにしております。



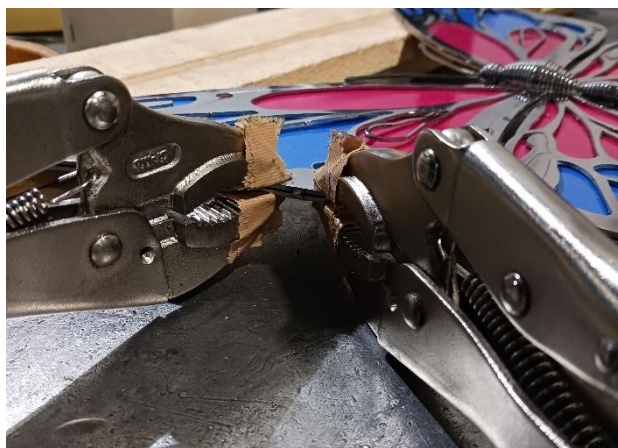
・表面磨きのために抜き加工時に微細のジョイントを複数残す部分と細かく小さい部分は抜き取ると振り分けて、磨き加工時にエッジに引っかからないようにする、加工後にばらしやすくするなど加工のための工夫を施しました。



・1.5t-0.5t-1.5t と組みたてた状態で、外周を TIG 溶接の焼けが塗装面に入らないように□2 mmのジョイントを入れて TIG 溶接をしました。また、溶接個所を避けるように 0.5t の板を 1箇所1箇所切欠き加工し、隙間ができないように密着させて溶接しました。

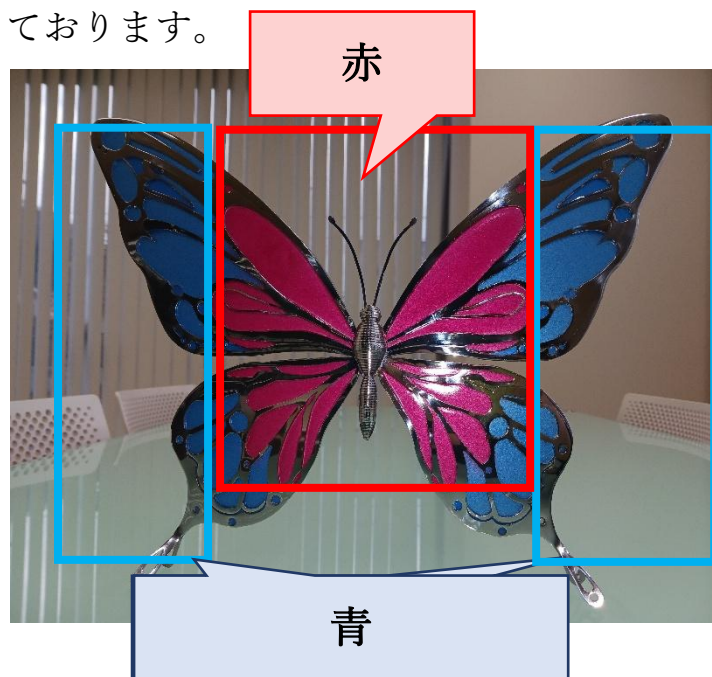


□2 mmのジョイントシム

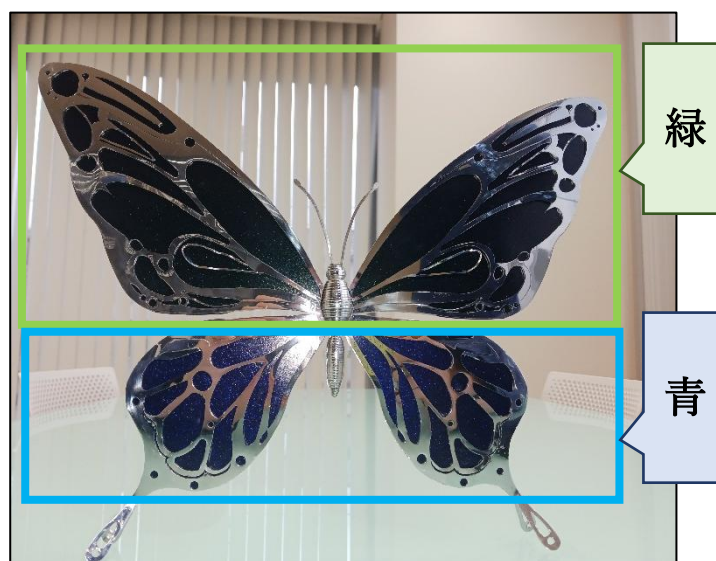


TIG 溶接時

・表面研磨した蝶々の枠ピースの抜き箇所と表裏などで塗り分けした塗装面を組み合わせることで、より鮮やかさを再現しました。表面と裏面でも色を分け雰囲気を変えております。



表面



裏面

・何もない状態で直立できるような構造にし、下側の翅を曲げを左右対称となるように微調整しました。

